

警察庁によると、2025年の薬物事犯の検挙人員は1万4574人（前年比1112人増）。このうち、覚醒剤事犯は6395人（同271人増）。

一方で大麻事犯は6832人（同754人増）で過

去最多。このうち、20歳代以

下の若年層が全体の7割以上を占めています。また、麻薬及び向精神薬事犯の検挙人員は1334人（同84人増）、このうちコカインの検挙人員は804人（同218人増）で過去最多。

## 薬物事犯の検挙状況

さらに暴力団構成員等の検挙人員は2124人（構成比率14・6%）、外国人が1502人（同10・3%）、匿名・流動型犯罪グループが1887人（同12・9%）で、これらの犯罪

組織が深く関与し、資金獲得活動の一つとなって

います。男女別では、男性が1万2590人（同86・4%）、女性が1984人（同13・6%）と、男性の比率が高くなっています。

防犯一口メモ